

日本共産党

Q 中学校給食と小学校エアコンの早期実施を



坪井久行 議員

A 財源を確保して事業化を進める

Q (1)子どもたちは未来の主権者であり、教育施策の充実を求める。①保護者の8割が強く望む中学校給食の実施時期の明確化を②小学校給食は民間委託でなく、効果的な直営方式の堅持を③学校のエアコンの早期実施を。②保育所の待機児ゼロと過密化の解消を。③介護制度の改悪の中で、サービス充実・住民負担軽減などのために、また30年度からの国民健康保険の都道府県単位化の中で、保険料軽減のために、一般会計からの政策的繰り入れを。④北陸新幹線



検討を要する北陸新幹線

*その他、地域経済、防災対策、平和も質問。

A (1)①③給食とエアコンは財源確保に努め、事業化を進める②効率的な運営のため民間委託する。(2)ここ数年は増加傾向にあるが、将来的には減少する見込み。当面、小規模保育を質量ともに充実させる。(3)政策的な繰り入れは、制度間の不公平を招くので実施しない。(4)財政負担は現時点では不明確。新幹線が学研都市にやる機会を逃さない。

は財政負担など慎重に検討を。

公明党

Q 「子育て世代包括支援センター」の設置を



今方晴美 議員

A 妊娠期からのサポート体制を含め進める

Q 妊娠前から出産、育児まで切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の設置を。A 妊娠期からのサポート体制を含めた、「子育て世代包括支援センター」の設置を進める。

安心安全(空き家対策) Q ①特定空き家等の判断基準②空き家等対策計画③早期に空き家条例の制定を求める。A ①基準づくりを進める②検討する③研究する。

環境(食品ロスの削減) Q 食べられる状態なのに捨てられる食品ロスの削減には、町民、事業者



乳幼児健診の相談の様子

が一体となった取り組みを進めるべき。A 住民や事業者に対して、町広報誌「華創」やホームページ、イベントなどを活用して普及啓発に努める。

いじめ防止の取り組み Q 国が公表する具体的事例を通じた実践的な取り組みを求める。A 先進的な取り組み事例を参考に、町内の各学校へ広めていく。

地域創生の推進 Q 企業版ふるさと納税の積極的活用を。A 地域創生の実現のため、研究する。

「ここが、聞きたい」

一般質問 Q&A

13人の議員が町長・教育長に質問しました。

掲載は質問者順で、内容は本人から提出された要約です。なお、「会議録」や「議会中継録画」は、議会ホームページで閲覧できます。

一般質問は、議員の調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員会などの施策を問うものです。

ページ	質問事項	質問議員
15	1. 介護予防・日常生活支援総合事業について	柚木 弘子
15	1. 財政基盤の確立 2. 学校教育、環境について 3. 交通安全対策	奥野 卓士
16	1. 学校給食について 2. ツアー・オブ・ジャパンについて 3. 消防団ポンプ庫整備について	山本 清悟
16	1. 狛田地域の整備事業に関して 2. 都市計画税の見直しについて 3. 自治会加入促進について	安宅 吉昭
17	1. 河川を利用した環境教育について	三原 和久
17	1. 障害者差別解消法施行に伴う、合理的配慮の深化 2. 交通問題 3. 貧困問題	佐々木雅彦
18	1. 地域創生シティブロモーション(京町セイカ・サブカルチャーの振興)について 2. 多様な生き方を認め合える社会を目指して 3. 中学校給食導入に向けて 4. ICT教育のさらなる推進を 5. JR祝園駅・近鉄新祝園駅の駅名に「学研」の冠を	宮崎 睦子
18	1. 安全・安心のまちづくり 2. クリーンパートナー制度のさらなる充実を 3. 下水道敷設工事の進捗は	神田 育男
19	1. 「お茶の京都」に係る取り組みについて 2. 地区集会所の整備について	岡本 篤
19	1. 精華台小学校区の交通安全対策について	山口 利忠
20	1. 自治基本条例の制定について 2. KICKの活動と地域連携について	塩井 幹雄
20	1. 公共施設トイレについて 2. 鉄道敷き内の放置草について	森元 茂
21	1. 町の花・バラの活用	村田 周子

※ は、本文以外の質問事項です。
※ 質問者順に掲載しています。

Q 新総合事業においても、 現行サービスの続行を



柚木弘子議員

A 現行サービスが必要な人には続けていく



介護施設建設予定地

- Q** 29年度から介護保険要支援者に対して新総合事業が始まる。現在介護サービスを受けている人は約120人。新事業に移行しても現行サービスを受けられる人は約30人だが、他の要支援者にも現行サービスの保障を。
- A** 現行サービスの必要がある人には続ける。
- Q** 30年度以降も続けられないか。
- A** 介護専門職による現行サービスは、認知症や視覚・聴覚障害の方など認められた人だけとなる。
- Q** 新年度の要支援認定者へのサービスは。
- A** 認定審査会で判断されれば、現行サービスを使える。
- Q** 事業所への報酬が現在の7割に削減されるが、経営悪化で事業撤退などの心配は。
- A** 国のガイドラインを踏まえ、継続可能な介護保険運営を考えて価格設定した。
- Q** 29年度の介護施設建設予定は。
- A** 光台コミセンのゾーンに、小規模多機能居宅介護、認知症グループホームなどを設けた施設を建設する。

Q 財政基盤の確立は

A 適宜、検討する。



奥野卓士議員

- Q** 安定的な財源として都市計画税がある。下水道事業の住民負担の公平性の観点から、市街化調整区域内にも賦課すべきだが。
- A** 学研都市建設の大きな流れのもと、新旧格差のないまちづくりのため、都市計画税を活用することによって成し遂げてきたものと認識している。今後も、財政状況や都市計画事業の推移を総合的に勘案し、適宜検討判断を行う。
- Q** 中学校の教育環境について
中学校クラーの実
- A** 平成29年度に中学校への空調設備の設置工事を実施し、平成30年度には稼働させる予定で進めている。
- Q** 中学校給食の実施は。
- A** 中学校の給食センター建設時期は、平成31年度以降になる見通し。来年度は基本構想を策定し、早期に実施できるよう進めていく。
- Q** 山手幹線の北進、南進工事の見通しは。
- A** 連節バスの駅前乗り入れ、家用車の対策は、九百石川2号水路の整備に、ついて質問しました。



町内旧集落の市街化調整区域



山本清悟議員

給食センター方式は食中毒拡大のリスクが高い

A 管理基準を厳守して適切な管理運営に努める

Q 29年当初、和歌山、東京などで学校給食による集団食中毒が発生した。本町で導入予定のセンター方式は、単独調理方式より感染対象が広がりリスクが高いが、安全対策は。

A レース本番まであらゆる機会(新聞広告も含む)を通じて周知、啓発に務める。町外を含め訪問看護・介護事業者などにも事前の周知、啓発に努める。必要に応じて規制区間の通行証を発行する。

Q 給食に関しては、大量調理で大きな被害が生じることから「学校給食衛生管理基準」を定めている。センター方式においても衛生管理の徹底が必要不可欠である。管理基準を厳守して、適切な管理運営に努める。

Q 日常利用の利便性も考え、地元の意見を入れてコースの整備を。

A 日常利用者が安全に通行できるように、地元と調整し、有効的な整備を図る。



整備が進む「茶いくるライン」

狛田地域整備事業の方向性は

A 本町北玄関口として整備を目指す



安宅吉昭議員

Q 狛田駅東の土地区画整備事業の最終年度である29年度の事業予定は。

計画を検討中である。産業施設用地の確保、職住接近で地元雇用も図れる幅広い産業の集積をする。

A 2号公園や近鉄狛田駅の東側駅舎などの施設や、狛田駅周辺の宅地整備工事を行う。また、アクセス道路の府道八幡木津線に接続する「町道僧坊前川線」と近鉄西側の「歩行者専用道路」は、用地取得後に工事を進める。JRの踏切工事は30年度以降の整備完了となる。

Q 学研狛田西地区(近鉄電車所有)の開発展望は。

A 現時点では具体的な事業計画はない。

Q 学研狛田東地区(京阪電鉄所有)の早期事業化は。

A 現在、開発事業者である京阪電鉄は土地利用

※都市計画税の見直しと自治会加入促進についても質問しました。



狛田駅東広場

山田川に環境教育できる水辺公園設置を



三原和久議員

A 163号線拡幅工事にあわせて検討する



山田川の水辺

Q 全国的に河川を利用した環境教育学習が様々な形で行われている。子どもたちに自然と触れ合う大切さや、実践的に体感させることができる教育が必要である。今後の河川整備の考えは。

A 河川は、子どもたちにとって身近に自然に触れることができ、大切にしていける気持ちにさせるものであると考える。教室から外へ出て河川を利用し、自然観察を行う授業は、四季の移り変わりを肌で感じ、自然の仕組みなど身をもって考える

大切な機会で、有意義なものと考えている。今後、163号線拡幅が進むにつれて、京都府とも整備時期の整理を必要とするが、前向きに検討する。

Q 教育長の考えは

A 河川を利用する環境教育の考えは、子どもたちが、いろんなところに実際に出かけ、体を動かし、観察し物を考える教育は非常に大事である。子どもたちの関心を高める自主的な活動も視野に入れ、挑戦していく必要がある。

Q 自家用車は祝園駅前広場に入れなくなるのか



佐々木雅彦議員

A ガーデンシティ駐車場で乗降してもらう

Q 祝園駅前広場への自家用車は入れなくするの

A ガーデンシティ駐車場で乗降してもらう。

Q 線路を挟んだ東西交通の円滑化を求める。

A 鉄道会社の理解が得にくいのが、歩行者の安全確保を優先する。

Q 接続バスは、乗降に時間を要してバス離れを起す危険性がある。検証したのか。

A していない。

Q 障害者も平等な社会に

A 障害者差別解消法施行1年を迎える。ハード・ソフト面の実態調査や



一般車進入禁止予定の祝園駅前広場

Q 条例化を進めるべきだ。

A 調査はこれからする。対応要領を作成する。条例化は考えていない。

Q 子どもの貧困に対応を

A 子どもの貧困は自己責任ではない。実態把握のための指標はあるのか。

A 調査していない。今後検討する。

Q 支援策の情報を知らずる冊子はあるのか。

A ない。個々対応している。

Q 政府は方針を作成している。町の対応は。

A 府の計画を参考に検討する。



宮崎睦子議員

Q 精華大学と連携協定を生かした取り組みを

A KICKを活動拠点として連携を深める

Q サブカルチャーの今後の振興については。①京町セイカ実写版の登場は②京都精華大学との連携協定を生かした取り組みは。

A ①可能性を追求していききたい②KICKでの「科学のまちの子どもたちプロジェクト」の活動拠点づくりを通じて、漫画やアニメ、デザインなどを中心に連携を深める。また、学研都市の立地機関との連携をさらに深めていく。

Q 教育関係について

Q 中学校給食導入に向けたアンケート調査の



リアル京町セイカ

①内容②回収率③どんな意見があったのか。

A 中学校給食の在り方や食育の内容、学校給食へのアイデアなど②42%③特に目についた意見は、早期に給食を実施してほしいという一言だけが書かれているものだ。

Q 小中学校のパソコン更新が、毎年1校では教育格差につながりかねない。改善策は。

A 教員の創意工夫と現状の機器を最大限活用したわかりやすい授業に努めている。

Q 防犯灯・安全灯の早期LED化を

A 平成30年度までの5カ年計画で進めている



神田育男議員



進むLED化

Q LED未設置地区への今後の設置計画は。

A 29年度は祝園地区、30年度は桜が丘地区で全て完了予定。

Q 全面切替後の電気料金の削減額と、維持管理費の削減額は。

A 電気料金は年間600万円、維持費は約200万円程度である。

Q クリーンパートナー活動のさらなる充実を

A 公園や道路植栽など、行政と住民が一体となった共同化事業は、まちの活性化と地域力の向上に大きく貢献している。今後の事業展開は。

A 今年度も4団体68名に登録いただき、現在23団体1493名が活動されている。今後とも公共施設の環境美化の取り組みに全力を注いでいく。

Q 市街化地域の下水道工事を急げ

A 祝園、駅中地区の下水道工事が進まない。市街化地域でもあるのに都市計画事業が遅れているのは問題だ。

A 下水道の未整備戸数は180戸、そのうち市街化区域が14戸である。区画整理事業の進捗を見ながら時期を決めたい。



「お茶の京都」に係る取組みは



岡本 篤 議員



けいはんな記念公園を中心にお茶会などを実施



日本遺産に選ばれた「稲八妻医師茶園」

Q ターゲットイヤーの取組みは。

A 府、商工会、ふるさと案内人とともに協議し、けいはんな記念公園エリアを中心に「継続した誘客拡大につなげる仕掛けが重要」という視点で、従来のイベントに合わせたお茶会などを実施する。また、けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）において、文化庁主催の「日本遺産サミット」が開催される。その中に本町のブースを出展し、特産品やスイーツの販売などを行い、町のPRに努める。

Q 日本遺産に認定された「稲八妻医師茶園」の活用は。

A 復元した「稲八妻医師茶園」は、新たな観光の目玉として、町内の史跡などを含めた周遊コースの設定や、案内標識の設置に取り組みもうと考えている。

Q 「稲八妻医師茶園」と、地元につながる稲八妻城跡との一体的なPRの考えは。

A 地方創生の取り組み期間中には活用したいと考えている。

※地区集会所の整備についても質問しました。



精華台小学校の南側に信号機の設置を



山口利忠 議員



木津警察署などに粘り強く働きかけていく

Q 平成24年に、亀岡市で発生した通学時の悲惨な交通事故発生以降、各地で通学路を中心とした交通安全対策が図られてきた。しかし、精華台小学校の南側にある「みずき通り線」の横断歩道については、信号機設置の要望があるにもかかわらず実現に至っていない。信号機設置に対する町の働きかけと、今後の方針は。

A かねてより木津警察署、府公安委員会へ要望しているほか、府の府民公募を活用して、精華台小学校からも要望書を提



みずき通り線

Q 出しているが、信号機設置の通過交通量の要件を満たさず、不採択となっている現状である。

Q 信号機設置の交通量の要件は。

A 時間あたり300台が交通量の要件であり、不採択となっている。昨年12月に「みずき通り」が全線供用になったことから、通過交通量の推移を見ながら粘り強く働きかけていく。

Q KICK (旧私のしごと館)の活用を



塩井幹雄 議員

A 「科学のまちの子どもたちプロジェクト」の活動拠点としていく



KICK(キック)

Q KICK(旧私のしごと館)は、国から府に無償譲渡され、現在、国際戦略特区の中核拠点になるよう取り組みを推進している。現在の活動状況は。

A 22の企業、大学が入居して活動している。

Q 町との連携は。

A 「科学のまちの子どもたちプロジェクト」の活動拠点として活用。

Q 地域住民との交流は。

A 施設活用で、地域住民との交流促進につながっている。

Q 自治基本条例について

A 町の発展には基本的な考え方、仕組み、また行政、議会、住民などの責任・役割などの基本理念を定めた条例が必要ではないか。

A 町民の皆さんの自治意識は高く、住民と行政との協働のまちづくりは進展していると認識している。今後、少子高齢化の進展により、さまざまな地域課題に直面すると考えるが、住民同士、団体同士の交流と連携で町政推進を図っていくことで、困難を乗り越えていくと考える。あえて制定する必要はないと認識する。



森元 茂 議員

Q 線路内の放置草、踏切通過に危険

A 鉄道事業者に維持管理を要望する

A 鉄道事業者において、年一回程度の除草作業をしている。今後は、除草の時期や回数改善などを要望する。

Q 学研都市線、近鉄京都線は、公共交通の利便性から非常にありがたいと思うが、軌道敷きの草刈りなどの維持管理ができていない。特に学研都市線については、府道八幡・木津線と並行しており、各踏切を通過する際、草が繁茂して非常に危険である。また、隣接する田畑が優良田であるが、地権者は非常に苦労している。町の考えは。



危険な放置草

Q トイレは日常生活で最も重要なものである。時代に置き去りにされ、利用者の利便性が考慮されていない公共施設などのトイレの整備状況は。

A 洋式便器率は56%。ある程度の和式便器を残し、洋式便器の整備を進める必要があると認識している。

Q 庁舎前東側花壇に「町の花・バラ」を



村田周子議員

A バラの位置付けを考えてみる機会にしたい



「町の花・バラ」でいっぱい

- Q** 町の花・バラの活用は
- A** 本町のバラを活用した取り組みは。
- Q** 毎年、せいか祭りでは百本のバラを無料配布している。
- A** 庁舎前東側花壇に多種類の「町の花・バラ」を。
- Q** 庁舎長寿命化基本構想の基本計画で、バラの位置付けを考えて見る機会にしたい。
- A** 庁舎庭園にあるバラの剪定を。
- Q** 適切な対応をとる。
- A** 花の苗の自治会配布に「町の花・バラ」も配布することは。
- Q** 「町の花・バラ」をできるだけ普及啓発していきたい。
- A** けいはんな記念公園とタイアップして、本町がバラの観光名所として脚光を浴びる取り組みを。
- Q** けいはんな記念公園では、20種類40株のバラが植えられている。記念公園の管理事務所と協議調整する。
- A** 交流人口の増加策
- Q** 本町の観光マップを発行する計画は。
- A** 全国初、自治体の「まっふる・ぶらりまち歩き 京都精華町」を4月中旬に1万部発行予定。

全国町村議会議長会「平成28年度町村議会特別表彰」受賞



表彰審査会 審査結果（抜粋）

議会基本条例を制定したのが平成21年ということからも分かる通り、全国的に見ても早い段階で議会改革を推進してきた。住民に開かれた議会を目標として、議会報告会の開催、インターネットを活用した情報公開と議会中継、議会図書館の充実と住民への公開など様々な方策を敢行。さらに平成28年には、議員報酬のあり方に関する提言書を町長に提出したように、議員のなり手不足問題への姿勢も積極的である。こうした多面的な議会活性化の取り組みの中でもとり

わけ顕著な成果をあげているのが、町長および行政に対する監視機能の強化という点である。

こうした取り組みの一方で、自身の襟も正す必要があるとの考えから、議員の自律意識の向上を目指して、平成25年に政治倫理条例を制定するに至っている。行政と議会の関係がいかにあるべきかの議論には終わりが無いが、精華町議会は、一連の事績からその理想形に相当程度近づきつつあると言え、また、その根底には、町民の代表としての自覚と飽くなき改革意欲が確かに息づいている。今後のさらなる発展に期待を寄せるとともに、これまでの実績に大いなる敬意を表したい。

その後を追う

議会だより 152 号より
(H28.5.1 発行)

どこまで進んだの!?

町広報誌などの配布方法の検討状況は

その時の答  この間、町政協力員と広報誌などの全戸配布の協議をしてきたが、
28年度中に自治会で決定していただく。

その後現在は …… 町政協力員や自治会長との協議を行った結果、①自治会による全戸配布、②自治会では会員のみ配布し会員外は町による配布、③町による全戸配布、以上の3つの配布方法から各自治会に選択していただき、平成28年10月から、広報誌など配布物の全戸配布を実施しています。
(総務課)

特別な記念として、町オリジナルの婚姻届の発行を

その時の答  住民サービスの向上と、町のイメージアップにつながるものと考え、
28年度中の早期実施を検討する。

その後現在は …… 精華町広報キャラクター「京町セイカ」を使用した精華町らしいオリジナル婚姻届・出生届を作成し、平成28年10月からホームページにてダウンロードを開始しました。また、窓口においても希望者にお渡ししています。
(総合窓口課)

文化財のデジタルミュージアム化と活用は

その時の答  町が収蔵している民具などの展示を中心に、デジタルミュージアム化により、古くからの人々の豊かな営みの様子などを実感できるインターネット博物館をつくる。28年度の早期に公開を予定している。

その後現在は …… 平成28年6月に本格稼働しており、教科書に出てくる民具、食事道具、米作りの農具を中心に公開しています。今後は、町指定文化財や「せいか歴史物語」の公開を予定しています。
(学校教育課)

お知らせ

■次回、平成29年度定例会6月会議は、
平成29年6月12日(月)からはじまります。

次回の6月会議に、請願・陳情・要望書の提出をされる方は平成29年6月2日(金)
午後5時までに、精華町議会事務局(町役場6階)へ提出してください。

あなたも議会を傍聴しませんか
インターネット中継もご覧ください。

日程については、議会事務局へお問い合わせください。TEL: 95-1908 FAX: 95-3972
<メールアドレス> gikai@town.seika.kyoto.jp

議会だより・会議録が「精華町議会」ホームページより検索できます。http://www.town.seika.kyoto.jp/gikai/

街をつくる人

77

精華台一丁目
老人クラブ
「プラチナ会」

相互に支え合いながら、 老後を楽しく、元気で過ごしていこう

プラチナ会は、精華台1丁目のマンション（ネオステージけいはんな公園アネシス）に平成20年5月に結成された老人クラブです。現在会員数は27名（男性16名、女性11名）で、精華町老人クラブの中で、当会は会員数が最小のこじんまりとしたクラブです。

会の名称は、いつまでもプラチナのように輝きつづけたい、ということ「プラチナ会」としました。

花が咲くよもやま話

定例会は、毎月第一土曜日の午後、マンション内の集会所で行っ

ています。老人クラブ連合会や会員からの情報提供のあとは、よもやま話に花が咲きます。例会後は、自治会で購入してもらったカラオケを有志で楽しめます。

定例行事として、年4回誕生会を、1月には新年会を行っています。誕生会では、時には知人の方を招いて演奏会をしたり、クイズをしたりして楽しく過ごしております。

定例外の行事として、去年は、4月にお花見会を、11月にはバスで、大河ドラマで話題となった高野山に行ってきました。また10月

には、精華町キャラバンメイト連絡会の講師をお招きし、身近な問題の一つである認知症の講演会も開催しました。毎年行われる議長杯グラウンドゴルフ大会には2チームが参加し、日頃の練習の成果を発揮しております。

会員も年々、年を重ねていきますが、プラチナ会活動を通じて、相互に支え合いながら、老後を楽しく、元気で過ごしていきたいと願っております。

プラチナ会

会長 鈴木 圭吾





絵文字がしゃべりだす「裏・表」
よしたあさか
吉田亜紗花さん(2年)



絵文字がしゃべりだす「届」
やまもと なつき
山本 菜月さん(2年)



僕のわたしの応援歌「世界にひとつだけの花」
まつい ふみ
松井 芙美さん(3年)



僕のわたしの応援歌「星の旅人たち」
なかつか あづみ
中塚 愛紬さん(3年)

表紙撮影者 “ひとこと”

伊藤 堅介さん(精華町文化協会・華写真クラブ)

武内神社で執り行われた『創立700年式年大祭』。巫女さんが、ササの葉で釜の湯を周囲に振りまき、無病息災を祈願する「湯立神事」が厳かに行われました。

- 撮影日：平成29年2月18日(土)
- 撮影場所：武内神社(北橋八間地区)

編集後記

議会改革の一つで、議会で何が議論・可決されたかをいち早く議会広報誌で届けるために、全国研修や先進地を視察しながら広報誌の充実を図ってきました。また、今までの広報誌とは違う新しい企画などを広報委員で考え、取り入れることで、読んでいただける広報誌へと変わってきました。今後もさらに、住民目線での誌面づくりに取り組んでいきます。